

令和6年度第5回東大和市子ども・子育て支援会議 要録

〔日 時〕 令和6年11月8日（金）午後2時～4時
〔会 場〕 会議棟 第4・5会議室
〔出席人数〕 委員7人（3人欠席）
〔傍 聴 人〕 0人
〔内 容〕

議題

○審議事項(1)「計画の名称について」

【事務局】

（計画の位置付け、名称等について）

本計画は、令和7年度以降の当市の子ども若者に関する取り組みを総合的に推進するため、市町村こども計画として策定するもの。

計画の名称を「東大和市子ども・若者未来プラン」としたいと考えている。

市民からの意見聴取は、パブリックコメントの他、当事者である子ども若者や子育て世帯の意見をより多く聴取するため、中学生高校生に対して、子ども・若者未来プランの概要説明とオープンハウスを実施予定。

（第2章修正箇所）

令和5年度の件数が急激に増加している理由について、いじめの定義などに関する注釈を入れた方がいいのではないかと委員からの提案に対し、注釈を入れた。

前回の会議で調整中であった、子ども若者の意見聴取の実施内容について追加。

（第3章修正箇所）

基本理念、基本目標、施策の方向性のみ記載していた箇所を、子ども若者と子育て家庭を取り巻く課題との関連をわかりやすくするため、基本目標ごとの課題を記載。

基本理念や目標を達成するための具体的な施策や事業の内容等について、施策の方向性ごとに表にして記載。

（成果指標について）

成果指標として、3つの指標を設定。今の自分が好きだと思う中学生、高校生若者の割合と、子どもが権利の主体であることへの認識度を確保する設問を指標に加えた。

【委員】 名称については、わかりやすいものが良いと思う。様々な意図があるのだろうと思うが、ここでもし、名称を子どもと若者と2つ並べた場合に若者に対する施策よりも子育てに関する施策が思い浮かんでしまう。

また、若者は概ね39歳までと書かれていて、この39歳の定義はどこにあるのか。

【事務局】 名称に若者を入れたいという考えのもと、本来だったら「子ども・若者・子育て未来プラン」になるところだが、長くなってしまう。子どもと若者のための計画であるという思いを込めた名前に変えた。

昨年度実施した子ども・若者・子育て支援ニーズ調査を実施した際に、国のガイドラインに沿って行いその対象が39歳までだった。

若者に対する支援として、「すべての子ども若者の健やかな成長と自立を支えます」として、生活支援、保護者自立促進事業、ヤングケアラーの支援や生きづらさを抱える若者への支援、若者に対する支援も行っている。

【委員】 若者を入れるのはいいとは思いますが、子どもの定義も難しいが、少し広げて若者と表現するのは良いと思う。今後は、子どもと、少し上の世代を入れるという視点も入れての名称である気がする。

【委員】子育てをしている側からすると名称に子育てが入っている方が良い。子育てが入ることによって子育てに対する支援をしているなというイメージが湧くのであった方が良くと思う。

【会長】今回の計画の支援対象は子どもと若者であり、計画名に入らなくとも子どもを支える子育て支援は当然に計画の内容には含まれる。

【委員】今は、ほとんど子育て支援の視点からの施策で、若者視点の施策は少なく感じる。市としては、今後の方向性として、子どもだけではなくて若者を並立させていきたい思いをこめて、計画名とするのならば名称に若者が入った方が良い。

【委員】計画の対象である若者への支援がまだかなり弱い気がする。未来に向けての方向性を今後の説明等で入れる必要はあるかと思う。

【委員】事業を見てわかりやすいのは資料4だが、項目がすべて並べられているものがあれば見やすい、そして似ているものをまとめる。ただ事業を進めるのではなく、無駄のない事業行ってもらいたい。また部活動の地域移行は必要であると思うから検討を進めてほしい。区部の方ではすでに行っているところも多い。

2 その他

【委員】医療費が高校生までが無償化となり助かる。

【委員】給食費の無償化も本当に助かる。ただ、知らない人も多いので、もっと大々的に周知していいと思う。

【事務局】

今後の予定

12月21日（土）から令和7年1月20日（月）までパブリックコメント実施予定。
令和7年1月13日に「中学生・高校生を対象としたワークショップ」及び「オープンハウス」を開催予定。